

令和6年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名

大磯町立国府小学校

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	・様々な情報（文章・図など）の中から、それらの関係性を見出し、必要な情報を取り出すことができる。 ・目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書くことができる。	・登場人物の心情や相互関係について捉えることに課題がみられる。物語文を読むときには、場面の変化、登場人物の気持ちの変化などを捉えながら読む力を身につけさせる。
算数	・除数が小数である場合の除去の計算ができる。 ・二次元の表から必要なデータを取り出して、分類整理することができる。	・「速さ」に関する問題に課題がみられる。「速さ・時間・距離」の関係概念について理解させるとともに、言語・図・式・絵などを用いて説明できる力を身につけさせる。
質問紙	・毎日朝食を取り、同じ時間に寝たり起きたりしている児童の割合が高い。 ・生活の中で幸せな気持ちになることがよくある、と答えた割合が高い。 ・授業でタブレットなどのICT機器を使用していると回答した割合が高い。	・「大人にいつでも相談できる」に対する回答が低い傾向にあるため、日頃から温かい関わりを築くことを大切にする。 ・新聞の読み方や読むことの良さ、また学校図書館等を利用して新聞や本等を読むことの必要性を教える。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

- ・国語の解答時間が十分でなかったと回答していることから、日頃から文章に触れておくことが大切と考える。音読カードや学校図書館も活用し、読書が好きな子を育てていく。
- ・算数で、「別の解き方を考えるか」に対する回答が低い傾向だったが、算数の学習は、一つの解き方だけでなく、多様な考えをもつことで思考力が育つものと考えている。多様な考えが書けることを目指すことにより、「書く力」を向上させることにもつなげたいと考えている。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

- ・朝食を毎日食べ、同じくらいの時間に寝て、起きていると答えた児童の割合が県・全国よりも高いことから、家庭において基本的な生活習慣ができていると考えられます。また、「普段の生活の中で幸せな気持ちになること」が「よくある」と回答した割合も高い傾向が見られました。
- ・本校は毎月「生活アンケート」を実施し、その後に児童と話す機会をもっていますが、「大人にいつでも相談できる」と回答した割合が低めであったことから、家庭と協力しながら、悩みや不安に寄り添うようにしていきたいと考えます。